

令和5年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第2学年	単位数	2単位
		教 科 書	グリーンライフ（実教出版）		
科 目	地域資源活用	副 教 材	な し		
科目の目標	農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得させ、地域資源の有用性を理解させるとともに、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。				
評価の観点	知識・技術【知】		思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】	
趣 旨	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する基礎的な知識を身に付け、農林業・農山村の特色や地域資源重要性を理解している。	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。		農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、農林業・農山村の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一学期	第1章 グリーンライフとは 1 人間生活とグリーンライフ 2 農山村と都市の現状と変化 3 地域社会の変化と社会的起業活動 4 グリーンライフ推進のための方策 第2章 農林業・農山村の魅力と地域づくり 1 農林業・農山村の魅力 2 身近な地域資源の発見と活用 3 農山村の資源と景観の特質 4 地域づくりとグリーンライフ活動 第3章 グリーンライフ活動 1 都市と農山村の共生・対流にみるグリーン ライフ活動 2 グリーンツーリズムの取り組み 3 農林業体験	○人間も自然の一部であり、同時に地域のコミュニティに根ざして生活していることを理解させる。 ○農林業・農山村の特色や地域資源の重要性について理解させる。 ○グリーンライフを理解させる。 ○農山村および都市の歴史や役割の変化について理解させる。 ○農山村における自然と共生した暮らしについて理解させる。 ○都市での農的空間の現状と意義について理解させる。	○			農山村および都市の歴史や役割の変化、自然と共生した暮らし、農的空間の現状と意義に関する知識を身に付けている。 農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、その今日的な現状と課題について探求しようとしている。 新たな社会の価値観を理解し、興味・関心を持ち、グリーンライフについて思考を深める。	・授業（座学）・実習への取り組み 方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
	第3章 グリーンライフ活動 4 市民農園・観光農園 5 エコツーリズム 6 景観とツーリズム 7 産地直送・産地直結と通信販売 8 直売所・農家レストラン 10 商品開発	○都市と農山村の共生・対流について理解させる。 ○農山村が持つ食料生産以外の多様な機能について、理解させる。 ○エコツーリズムの考え方やエコツアーの特徴を理解させる。 ○世界や日本における事例を知らせる。 ○エコツアーを実施するときの留意点を理解させる。	○			他分野との連携について理解している。 市民農園・観光農園の特徴、種類、役割について理解している。 世界や日本における事例を理解している。	・授業（座学）・実習への取り組み 方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
	第3章 グリーンライフ活動 8 直売所・農家レストラン (1)直売所・農家レストランとは (2)直売所・農家レストランの運営 10 商品開発	○直売所・農家レストランの特徴と広がりについて理解させる。 ○直売所・農家レストランの運営方法を理解させる。 ○商品開発の特徴について理解させる。 ○商品開発の実施について理解させる。	○			直売所・農家レストランの特徴と広がりについて理解している。 直売所・農家レストランの運営方法について理解している。 商品開発について理解している。	・授業（座学）・実習への取り組み 方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
三学期				○		商品開発の方法について、基礎的な知識や技術を基に合理的に判断し、その過程を表現することができる。	・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
					○	商品開発を実施するにあたり、基礎的な食品加工等に関する技能を身に付けている。	・各管理作業の目的的理解